

企業を訪ねて 7

株式会社植木組(総合建設業:柏崎市新橋2番8号)

■地域の皆様の安心と安全を確保し、お客様の夢を実現

平成23年1月19日(水)、柏崎市の株式会社植木組本社に植木義明代表取締役社長を訪ねた。総合建設会社として長年にわたり地域と共に歩み、お客様の夢の実現に向けた企業活動を行っている状況を伺った。

聞き手◆貴社の企業理念について教えてください。

植木氏◇当社は創業126年目を迎えており、その時代背景に合うように何回か企業理念の見直しを行ってきました。現在は、「明日を創造」、「常に挑戦」、「一緒に感動」という3つの理念を立てており、地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

◆貴社が目指している「お客様の夢の実現をサポートするソリューション型の活動」について教えてください。

◇本体として、建築、土木、ガス・水道、舗装の4つの事業セグメントを持っています。その他に、建設系のソフトウェアを作っていた部門を独立させた株式会社ユニテックがあります。IT企業として地域の信頼を受けて順調に成長してきました。工科大学の卒業生も多く活躍していただいています。また近年の少子高齢化、ライフスタイルの変化に伴って施設介護を望む声が多く、行政での実現が難しい部分について、当社が出来る限り支援したいと考え、介護の会社を立ち上げました。現在は3カ所の施設を運営しています。さらに当地域には大規模な企業の立地があります。そこで働く方々への住宅・施設提供も行っておりますし、先の中越沖地震や中越大地震においても、地域の要望をお聞きして、いろいろなお手伝いをしております。

◆阪神淡路では、震災後の空き地利用が課題になっているようですが、柏崎の状況は如何でしょうか？

◇本町通り周辺の家並みは、間口が狭く奥行きが長い街づくりが特徴です。住宅の建て直しには、近隣の方々の協力を得て敷地を整える必要がありますが、大変に困難な作業となっています。行政が進める将来計画と住民の皆様のご意見をお伺いしながら、私たちのできる範囲で積極的にお手伝いをさせていただいております。

◆建設業界の現況・今後について教えてください。

◇仕事量は公共工事の削減・少子高齢化などの影響を受けて平成初期のピーク時から半減し、業界内での競争が厳しい状況にあります。このような状況の中、コスト削減・生産性向上はもちろんですが、今後も技術革新・環境に配慮した事業を展開し、当社しかできないようなものを提供して地域に貢献したいと考えています。



植木義明社長 株式会社植木組本社にて

◆社員教育や人材の育成について教えてください。

◇建築現場では、社員と各専門業者50~100人が共同で作業を行っています。そのため、現場でのOJTが重要と考えています。また、入社後3年、5年などの節目、またそれ以外にも部門別に定期的な教育を行っています。工科大学出身の社員は、設計業務や各現場において向上心を持って仕事に取り組んでいます。

◆昨年11月に完成した原子力耐震・構造研究センターは、植木組さんに施工いただきました。

◇最先端の実験装置が整備されており、今後の研究成果に期待しています。当社としてもこれらの実験設備の活用や当社の有する研究データの提供など、研究センターに出来る限り協力していきたいと考えています。

◆本学に期待すること、要望などがございましたらお聞かせください。

◇例年、柏崎商工会議所の総合建設部会と大学が連携して、学生の研究成果を発表してもらう機会を設けています。地域を題材に取り組んでいる研究の内容が詳しく分かるため、興味深く聴いています。今後さらに、大学で行っている様々な研究テーマやその成果を広く公開していただければと思います。このような情報公開を通して、技術相談や共同研究等も見つけることが出来ますし、我々も大学に足を向けやすくなります。それが業界全体や地域産業界に拡がり、交流の活性化に繋がるものと思います。

◆【お話を伺う中で、地域の町屋づくりや街道の歴史などもわかりやすく教えていただきました。お忙しいところ誠にありがとうございました。】